
月見鳥

月見鳥

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

月見鳥

【著者名】

月見鳥

【ISBN】

N3428F

【あらすじ】

血口紹介の詩です。特に意味のない内容なので興味を持った方だけお読み下さい

人は僕を

「空を見上げながら自由に飛び立つ事を夢見ている」と言つ。

だから用見鳥。

物を言わない僕だからそう思われるんだ。

本当は空なんて夢に見ていない

だって下から見て綺麗なものでしょ？

上から見たら”壊されたもの”が見えるから

だから僕は空を見上げるのが好き

僕が物を言わないのは

仲間にだけ伝える言葉だけでいいと思つから

だって僕は博愛主義者ではないからそれで充分

出来る事なら僕の声は愛しいあの人だけ届いたら

もつ叫ぶ必要もなくなつて楽なのにな

僕の翼は小さい

それでも愛しい人だけが見てくれたから

「その小さい翼がかわいい」

そう言つてくれたからこれでいい

僕は頭が悪い

基本的に何も考えてないし、殆どの事に無関心

でも興味が湧けば無鉄砲にとんでもいく

でもそれは常に一つだけ

僕は月見鳥

飛べないし歩くの遅いしバカだし何も考えてなさそつてみんなが
言つ

欠点だらけだとみんなが言つ

でも

「だから愛されるんだ」って愛しい人が言つ

僕はそれだけでいい

それだけがいいんだ

多くは望まない

だって僕は1つだから

1つだから大切なものも1つだけ

1つだから望む事も1つだけ

僕から見れば

沢山のものに愛されたくて

大切なものも沢山あって

色々な楽しみを味わいたいだなんて

よく思えるなって見える

全てが中途半端に始まつて終わつて

それで満足なのかなって

そう思うんだ

みんな同じような形で

みんな同じような思考で

みんな同じような行動してゐる

月は毎日形を変える

人はなかなか変えない

変わらない

だから僕は月を見る

人から傷つけられても

僕は月だけを見てる

裏切らない月だけ信じて

僕はこれからも月だけ見てる

僕は月見鳥

今日も明日も

月を見上げてる

(後書き)

読んで頂いてありがとうございます。意味のわからない所は自由に
読解して下さい。

これからもいつくづマニペースに血口溝足に小説等も書いていきます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3428f/>

月見鳥

2010年12月29日23時01分発行